

大牟田市立小中学校の適正規模・適正配置に関するアンケート結果

回収率: 88.6%

問 1	勤務している学校名 [※ ※ ※ 小学校]	
問 2	担当する学年	件数 割合
	1. 1年生	33 9.9%
	2. 2年生	30 9.0%
	3. 3年生	34 10.2%
	4. 4年生	30 9.0%
	5. 5年生	33 9.9%
	6. 6年生	36 10.8%
	7. 担任外	96 28.8%
	8. 管理職	41 12.3%
問 3	小学校の1学級の児童数は、何人くらいが適当だと思いますか。 ※太枠=最多	
	1. 15人以下	5 1.5%
	2. 16～20 人	36 10.8%
	3. 21～25 人	153 45.9%
	4. 26～30 人	120 36.0%
	5. 31～35 人	18 5.4%
	6. 36～40 人	0 0.0%
問 4	(問3)での回答の理由は、どんなことからですか。 <複数回答 可> ※太枠=過半数超	
	1. 教師が、児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導を受けられる	264 79.3%
	2. 教育活動の中で一人ひとりの活動の機会が増える	194 58.3%
	3. 児童相互の人間関係が深まりやすい	128 38.4%
	4. 多くの友達の考えに触れる機会や学び合いの機会が得やすい	140 42.0%
	5. 学校行事や技能教科(音楽・体育等)など、活気ある集団的教育活動が経験できる	98 29.4%
	6. その他のご意見(記述)	7 2.1%
問 5	小学校の1学年の学級数は、何学級が適当だと思いますか。 ※太枠=最多	
	1. 1学級(全校6学級)	3 0.9%
	2. 2学級(全校12学級)	170 51.1%
	3. 3学級(全校18学級)	144 43.2%
	4. 4学級(全校24学級)	6 1.8%
	5. 5学級以上	0 0.0%
	6. 複式学級(2学年1学級)でもよい	0 0.0%
	7. 学級数にこだわりはない	10 3.0%

問 6	(問5)で選んだ学級数の理由は何ですか。 <複数回答 可> ※太枠=過半数超		
	1. 6年間同じ友達と一緒に過ごすことで、人間関係が安定する	8 2.4%	
	2. 6年間で、何回かのクラス替えは必要である	270 81.1%	
	3. 多くの友だちの考えに触れる機会や学び合いの機会が得やすい	238 71.5%	
	4. 学校行事や技能教科(音楽・体育等)など、活気ある集団的教育活動が経験できる	149 44.7%	
	5. 其他のご意見(記述)	13 3.9%	
問 7	学校規模が小さくなることは、学校運営上どんな影響があると思いますか。 <複数回答 可> ※太枠=過半数超		
	小規模化のメリット	1. 全教職員間の意思の疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい	186 55.9%
		2. 学校が一体となって活動しやすい	193 58.0%
		3. 保護者や地域組織との連携が図りやすい	90 27.0%
	小規模化の課題	4. 教員間の指導に関する、相談・研究等が困難になる	71 21.3%
		5. 教員一人に複数の校務分掌が集中しやすい	276 82.9%
		6. 教員の出張・研修会等への参加が難しくなる	156 46.8%
		7. 其他のご意見(記述)	10 3.0%
問 8	文部科学省では、小学校の通学距離はおおむね4キロメートルとしています。小学校では児童の基礎的体力をつけることや、交通安全の確保の観点から徒歩通学を原則としますが、通学距離は何kmまでが可能だと思いますか。 ※太枠=最多		
	1. 2km以内	94 28.2%	
	2. 3km以内	115 34.5%	
	3. 4km以内	113 33.9%	
	4. 5km以内	7 2.1%	
	5. 其他のご意見(記述)	3 0.9%	
問 9	小学校の適正規模・適正配置のために学校再編を行う場合、どんな期待や不安を持ちますか。 <複数回答 可> ※太枠=過半数超		
	期待できること	1. 子どもたちの経験値が大いに増す	129 38.7%
		2. 子どもたちの序列化・固定化の解消	179 53.8%
		3. 子どもたちの精神面での成長	84 25.2%
		4. 教育活動の活性化が進む	157 47.1%
	不安なこと	5. 子どもたちのスムーズな融和	110 33.0%
		6. 不登校・問題行動の増加	49 14.7%
		7. 通学路の変更等による安全上の課題	192 57.7%
		8. PTAの融和と組織運営	61 18.3%
		9. 地域と学校との連携	89 26.7%
10. 其他のご意見(記述)		8 2.4%	